

## 長野県伊那弥生ヶ丘高等学校校歌

作詞 宮澤 章二 (みやざわ しょうじ) (1919年6月11日 - 2005年3月11日)

埼玉県羽生市出身。東京府立高等学校、東京大学文学部美学科卒業。埼玉県立不動岡高等学校の教諭時代に、疎開で加須市に住んでいた作曲家の下総皖一と出会ったことから、詩人・作詞家として活動を開始。校歌や合唱曲、童謡などの作詞を多数手がけた。特に校歌は埼玉県内を中心に300校以上にのぼる。『ジングルベル』の訳詞者としても知られる。日本童謡賞、赤い鳥文学賞特別賞、埼玉県文化賞、埼玉県文化功労賞知事表彰などを受賞。大宮市教育委員長も務めた。

作曲 中田 喜直 (なかだ よしなお)

(1923年8月1日 - 2000年5月3日)

東京市(現在の東京都渋谷区)出身。『ちいさい秋みつけた』や『めだかの学校』『夏の思い出』など、今日も小中学校の音楽の時間で歌い継がれている数々の楽曲を作曲した日本における20世紀を代表する作曲家の一人である。

父は「早春賦」で知られる作曲家の中田章、兄は作曲家・ファゴット奏者の中田一次である。妻の中田幸子は、音楽出版ハッピーエコーの代表であり、喜直の作品を多数出版している。また、はいだしょうこの声楽の師匠でもある。



- 1923年 東京府(現・東京都)生まれ。
- 1943年 東京音楽学校(現在の東京藝術大学)卒業。
- 1968年 横浜市保土ヶ谷区(翌年区制が改正され「旭区」となる)へ転居。
- 1979年～2000年 社団法人日本童謡協会会長。
- 1986年 11月紫綬褒章受章。
- 1990年～2000年 フェリス女学院大学教授ならびに名誉教授。
- 1995年 NHK 放送文化賞受賞。
- 1999年 日本音楽著作権協会60周年特別賞受賞。
- 2000年 第42回日本レコード大賞日本作曲家協会功労賞受賞。5月3日、直腸癌のため死去。76歳没。